

I ま え が き

平成25年度の一般会計決算額は、歳入総額が5,793億7,600万円、歳出総額が5,756億200万円となり、歳入・歳出とも増となりました。

歳入総額については、前年度決算額と比較すると1.6%の増となっています。これは、固定資産税の増などによる市税の増、経済対策の迅速かつ円滑な実施を図るために創設された「地域の元気臨時交付金」などによる国庫支出金の増、及び減債基金借入金の増による繰入金の増などがあったことによるものです。

歳出総額については、前年度決算額と比較すると1.5%の増となっています。これは、小杉駅周辺地区再開発事業の進捗によるまちづくり費の減、及び中高一貫教育校新設事業の繰越による教育費の減などの一方で、保育所受入人数の増加によるこども費の増、障害者(児)介護給付等事業費の増による健康福祉費の増、及び堤根処理センター基幹的施設整備の進捗による環境費の増などによるものです。

また、歳入歳出差引額から、平成26年度への繰越事業に充当する繰越財源を差し引いた実質収支額、いわゆる剰余金は1億9,400万円となりました。

平成25年度の財政状況は、当初予算に見込んだとおり大変厳しいものとなりましたが、待機児童の解消をはじめとした社会保障関連施策の充実など、切れ目のない取組のため、減債基金からの新規借入を27億円行いました。

一定の経済成長と職員削減を見込んだ場合でも、ここ数年においては、毎年度200億円程度の収支不足が見込まれていることから、本市の財政状況は極めて厳しい状況が続くものと想定されます。

こうしたことから、国の施策の動向や環境の変化を踏まえつつ、真に必要な施策の着実な推進と、持続可能な行財政基盤の構築を両立する取組を進め、着実な財政運営に努めてまいります。

以下、平成25年度決算のあらまし、並びに、平成26年度上半期予算執行のあらましについてご説明いたします。